

令和元年度 青少年交流事業
カナダ・ノースバンクーバー市派遣
帰国報告書

公益財団法人千葉市国際交流協会

目次

1. 派遣概要	3
2. 滞在日程	3
3. 研究レポート	6
(1) カナダと日本の観光地の違い 上野 美鈴	
(2) カナダ人の、他人への接し方 小澤 萌	
(3) 時間活用の違い 加藤 李理	
(4) カナダの物価 森島 愛美	
(5) 様々な種類の人々が共存するカナダについて 吉田 唯葉	
4. 滞后感想文（日本語／English）	20
(1) 優しさと親近感／Kindness and affinity 上野 美鈴 Misuzu Ueno	
(2) Oh, Canada ! ! ! ! !／Oh, Canada ! ! ! ! ! 小澤 萌 Mei(May) Ozawa	
(3) 来年に向けて／For next year 加藤 李理 Riri(Lily) Kato	
(4) 派遣生になって／Became dispatch student 森島 愛美 Manami Morishima	
(5) カナダでの滞在を通して／The memory in Canada 吉田 唯葉 Yuiha Yoshida	
(6) 引率者としての滞在を通して／Through This Stay as a Chaperon 千葉市立有吉中学校 教諭 小川 雄太(引率者) Yuta Ogawa (Chaperon)	
5. 記録写真（思い出の写真）	32

1. 派遣概要

- (1) 派遣都市 カナダ・ブリティッシュコロンビア州ノースバンクーバー市
 (2) 派遣期間 令和元年 8月5日(月)～8月20日(火)
 (3) 派遣者 高校生5人、引率者1人
 (4) 滞在形態 一般家庭にホームステイ
 (5) 現地受入機関 ノースショアライオンズクラブ 青少年交流委員会

2. 滞在日程

日付	曜日	内容	写真
8月5日 第1日目	月	出発・到着 16:30(日本時間) 成田国際空港第2ターミナルより出国 9:30(現地時間) バンクーバー国際空港到着 千葉へ行く派遣生との交流 写真撮影 12:00 ウェルカムパーティ 13:00 各ホストファミリー宅へ	
8月6日 第2日目	火	日本総領事館表敬訪問 PM: バンクーバー市街へ行き、日本総領事館へ訪問 →終了後、派遣生はホストブラザー&シスターとダウンタウン散策	
8月7日 第3日目	水	市長表敬訪問 AM: 市役所に集合し、表敬訪問(浴衣着用) →Tap & Barrelにて会食 →市長とノースバンクーバーベイサイド散策 PM: 派遣生は各ホストファミリーとハイキングへ	
8月8日 第4日目	木	キャンプ旅行1日目 PM: Paradise Valley Campgroundに到着 スポーツをしながらホストファミリーと交流 夕食→交流	

日付	曜日	内容	写真
8月9日 第5日目	金	キャンプ旅行2日目 AM: 朝食後、ハイキング PM: Sea to Sky Gondola	
8月10日 第6日目	土	キャンプ旅行3日目 AM: 朝食後、後片付けをし、各ホストファミリー宅へ PM: 自主研修 (各自ホストファミリーと過ごす)	
8月11日 第7日目	日	50周年記念式典 PM: 記念式典参列 (浴衣着用) 13:30 Greetings 和太鼓パフォーマンス 神輿パフォーマンス 14:30 式典終了	
8月12日 第8日目	月	ライオンズデイ 8:00 Capilano Suspension Bridge 見学 10:00 Capilano River Facility 見学 11:30 与八鮨 (寿司レストラン) で昼食 13:30 Canada Place 周辺散策 15:00 Fly Over Canada 体験 16:00 Vancouver Lookout 見学 17:00 Gas Town でショッピング 18:00 イタリアンレストランで夕食	
8月13日 第9日目	火	カヤック体験 AM: Deep Cove で2人乗りのカヤック体験	

日付	曜日	内容	写真
8月14日 第10日目	水	ウィスラー旅行1日目 AM: ブリタニア鉱山博物館見学 PM: ウィスラー到着→散策 ロッジに到着→交流	
8月15日 第11日目	木	ウィスラー旅行2日目 AM: ゴンドラにて山頂へ PM: ライオンズベイにてシーサファリ体験	
8月16日 第12日目	金	カルタスウォーターパーク ~15:50 ウォータースライダー体験 →アドベンチャーパークへ移動、遊園地散策	
8月17日 第13日目	土	Stanley Park AM: サイクリングでパーク内を周遊 PM: シャペロンナイト (引率者) …過去の引率者との夕食会	
8月18日 第14日目	日	17:00~ Farewell Banquet	
8月19日 第15日目	月	ノースバンクーバー出発 13:50 (現地時間) バンクーバー国際空港より出国	
8月20日 第16日目	火	到着 15:50 (日本時間) 成田国際空港に到着	

3. 研究レポート

カナダと日本の観光地の違い

上野 美鈴

1 【テーマ選定理由】

ノースバンクーバー市に滞在していた期間、私達はカナダの様々な観光地を訪れました。そのとき、カナダの観光地には歴史を伝えるため、観光客を増やすため、地元の人達にも訪れてもらうための施設や工夫が凝らされていることに気が付きました。

よってこの報告書には、私がカナダの観光地について気が付いたことを、日本との相違点も踏まえてまとめていきたいと思います。

2 研究報告

*訪れた観光地紹介

Fort Langley National Historic Site

200年前のカナダを再現した観光地。小さめの映画館ではブリティッシュコロンビア発祥の歴史をコミカルに説明した映画が流れている。映画は自分でスイッチをいれると流れ始めるようになっていて、日本語や様々な国の言語の字幕を付けることができる。



キャピラノ吊り橋

キャピラノ川にかかる長さ 140 メートルの吊り橋。入場した時にもらえるスタンプラリーや、達成すると缶バッジがもらえる子供向けのアクティビティが充実していた。15年間水にさらされた岩が展示してあったり、リスがいたりしていて、自然を感じられる場所であった。



ブリタニア鉱山博物館

昔閉山した鉱山を再利用してつくられた鉱山博物館。トロッコに乗って鉱山に入り、発掘の様子をガイドさんが実演してくれた。また、発掘した岩石の加工方法を説明したショーがあった。本物の岩石加工施設にライトを当てたり、スモークや火花や液晶の画面などを利用して当時の様子を再現していた。

*工夫が見られた点（日本との相違点）



海外から訪れた観光客への対策

Fort Langley National Historic Site や、キャピラノ吊り橋でのパンフレットや映画の字幕などから、海外からの観光客への対策が万全で、様々な観光客に訪れてもらうための工夫がされているということが分かった。

➡日本では…カナダと同様に、日本の観光地でも外国語の音声案内や、様々な国の言語のパンフレットがあり、海外からの観光客の対策は万全だと思う。

しかし、カナダでの日本語のパンフレットは少し日本語がおかしかったり、直訳のような部分があった。そのため、日本で作るパンフレットが外国語への直訳ではないかを調べたり、直したりして、自国の観光地に来たかのように違和感なく観光できる工夫が必要だと思う。

歴史を伝えるための工夫

カナダでは多くの観光地が楽しく歴史を学べる工夫を施していた。キャピラノ吊り橋では、スタンプラリーやアクティビティ、ブリタニア鉱山博物館などでは砂金あつめを体験できる場所があった。

➡日本では…同様に楽しみながら歴史を学べる工夫がされている。スタンプラリーは多くの観光地にある。また、それぞれの観光地の文化に合わせた服など（着物や兜など）を身につけられる体験なども充実している。

地元の人達にも訪れてもらうための工夫

上に紹介した以外の観光施設に多かったのが、この地元の人達にも訪れてもらうための工夫だった。多くの観光施設の広場には、ミニゲームを楽しめるような場所があり、私のホストファミリーもその場所に連れていってくれた。

➡日本では…観光客向けのイベントやお土産などは充実しているが、「地元に住んでいる」人向けの施設はあまりないという印象がある。たくさんの人が訪れるような観光地をつくるには「地元に住んでいる」人も訪れられる、憩いの場があることが大切だと思う。

3 まとめ

今回この報告書にカナダと日本の観光地の違いをまとめて感じたことは、「日本はたくさんの観光客に来てもらうための工夫はしているが、地元の人達にも訪れてもらうための工夫はあまりしていない」ということでした。

それぞれの観光地を外にアピールしていくには、地元の人達にその観光地を知ってもらうことが必要不可欠だと思います。地元のひとがその観光地を好きになれば、「観光地をアピールしたい！」と考える人も増え、なによりそれが地元の活性化につながると思います。

また、「国が違っても、地元をアピールするのに大切なことは同じ」ということも感じました。今回学んだことを、2020のオリンピック・パラリンピック、またこれからの千葉市と日本を活性化することに活かしていきたいです。

カナダ人の、他人への接し方

小澤 萌

研究概要

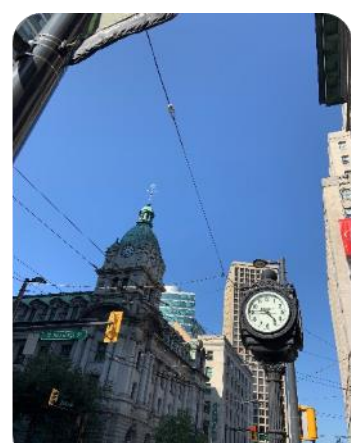
カナダ人は人と、どのようにコミュニケーションをとるのか、日本人とはどのように違うのかを調べる。

【テーマ選定理由】

単純にどのように違うのかが気になった。私が興味深いと感じたシチュエーションごとにまとめたら、面白いのではないか、と思ったからです。

街中にて

まず、歩いていて人と目が合うことがありません。なので、日本のように、見られている、監視されているという感覚がありません。そして、もし、目が合ったら、ニコッと笑ってくれます。日本ではまずないことに、とてもびっくりしました。それと、カナダでは、誰かが、くしゃみをすると必ず “Bless you.” と言います。意味は、「お大事に。」という意味です。友達同士や家族同士、街を歩いていて知らない人にも、くしゃみが聞こえれば “Bless you.” と言います。また気温が高い日には、“Roasty Toasty” と知らないおば様に言われました。意味は、「焦げちゃうくらいに暑いね。」みたいな意味だそうです。みんなとてもフレンドリーで面白かったです。



お店にて

お金を払うとき、カナダのレジの店員さんは、高い確率で How are you? と聞いてくれます。そしてそこから日常会話が始まります。気軽におしゃべりできるので、楽しかったです。日本では、店員さんは淡々と会計をしてくれます。早くしてほしい時や、あんまり人と話したくないときは、日本のお店の方がいいと思います。どちらにも良い面と悪い面があり、どちらがいいとは決められません。ですが、カナダの方にとっては、日本人の店員さんは少し冷たく感じるそうです。

余談ですが、、、↓

レストランではウエイトレスさんが、料理どう？と声をかけてくれます。その時に、料理に不満があれば、作り直してくれます。(なので料金が少しお高いです。(笑))

とにかくお店の中でも、日本との違いだらけで面白かったです。

そして、どのお店でもほぼキャッシュレス!!!ホストシスター達もカードでお支払いをしていました。お金を出す手間が無いから、会計の時に店員さんとおしゃべり出来るのだと思います。



ホストファミリーとホストシスター達

まず思ったのは、ずっとしゃべっているな、でした。話が途切れることはありません。なので、こちらにもたくさん話しかけてくれました。言葉が通じない時は、こちらの言いたいことをくみ取ってくれようとしてくれ、表情や態度もよんでくれます。必ず笑顔を変えながら話してくれます。目が合うと笑ってくれます。

日本人と同じように目をきちんと見て話してくれます。上下関係も男も女も、知っている人も知らない人も関係なく、本当にフレンドリーです。ハグもたくさんします。

日本より、男女上下の関係がフラットで、とてもいいなと思いました。



まとめ

カナダ人は、フレンドリーで優しく、笑顔で会話をしてくれる。

男女上下の関係が難くない。

とにかく会話が深い。

他人の事を日本人ほど気にしない。

英語が聞き取りやすい。

色んな人がいて当たり前、という考えが根付いている。

→結果として、いろいろな人種が集まり、共存している。



旅とレポートの感想

何から何まで日本とは違うことだらけで面白くてしょうがなかった。また行きたい。今度は自力で、カナダに行こうと思いました。



終わりに、、、

なんとなく疲れているな~と思う人は、カナダに行けばいいのではないかと思うくらい、ストレスがなく、過ごしやすい国でした。それは、カナダの良い面しか見られてないからだよ、と言う方もいますが、どこの国に行っても同じです。なので、今回は、私の観点で、私の感じたように書かせていただきました。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

時間活用の違い

加藤 李理

【テーマ選定理由】

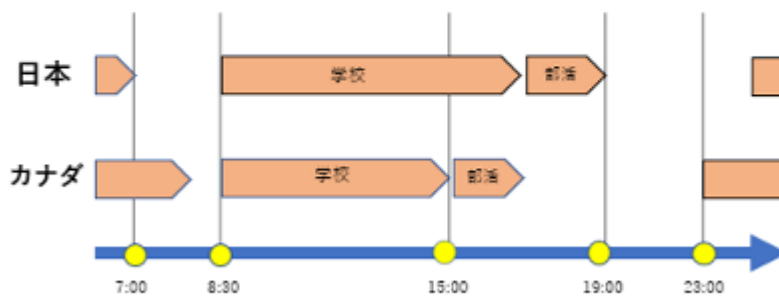
同世代のカナダ人派遣生と時間を過ごし、夏季休暇に課題や部活動がないこと、多くの高校が単位制を自分で時間割や科目を選択できるということを知り、興味を持ったため。一日のスケジュールや空き時間の活用、学校の様子から日本とカナダの高校生の時間活用について比べていきたい。

研究報告

1) 一日のスケジュール

① 学校の日

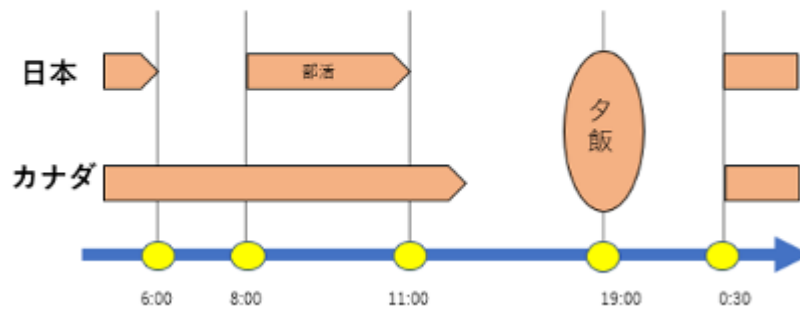
平日スケジュール



図から日本の高校生のほうが授業時間・部活動の時間が長いということがわかる。またもっと細かく見ると「日本高校生の授業時間＝カナダ高校生の授業時間＋部活時間」ということも読み取れる。学校が終わってからの空き時間が多いからか、カナダ高校生のほうが日本人高校生より就寝時間が早い。（課題をやる時間に余裕があることが繋がっているのではないだろうか？）

② 夏休み

夏休みスケジュール



図からもわかる通りカナダでは夏季休暇中に部活はない。夏課題も無く、ゆっくりとした一日を過ごしている。ギターやピアノなどの音楽を楽しんだり、Netflixなどを使って映画鑑賞をしたりなどそれぞれの趣味を楽しんでいる人が多い。また、多くの人が夏季休暇を利用して海外旅行やサマーキャンプなどに家族や友達と行っていることが分かった

2) 日の長さの違い

<7時>

カナダ



日本



<9時>

カナダ

日本



カナダと日本の7時・9時をくらべてみると、カナダでは7時でも日本のお昼のような明るさと空であることが分かる。また9時の日本は真っ暗なのに対し、9時のカナダはまだ活動のできる明るさである。このようにカナダは日本に比べ日が長く、行動可能時間が長いことが分かる

3) カナダの高校の時間活用

- ・自分で時間割を作成

(授業を入れない曜日や2限から授業の日などをつくることができる。)

- ・社会勉強の一環としてバイトでの仕事が単位となる。

(私のホストブラザーはこれを活用して平日授業の代わりにバイトをすることを言っていた。)

- ・1人1台ノートパソコン

考察、まとめ

日本とカナダの高校生のスケジュールの比較からもわかる通り、日本の学生のほうが忙しく日々、部活や勉強に追われていることがわかる。カナダの高校生は日中の行動可能時間が多いことや高校の仕組みにより、時間にゆとりがあり、自分の趣味や家族との時間そして社会を見る時間が日本の学生よりも多くある。

一緒に時間を過ごしたカナダの高校生たちは、質問はあるかと聞かれたときにすぐに手をあげたり私たちにもたくさんの疑問そして意見を話してくれたりした。このように時間のゆとりによる効果が自分の意見をしっかりと伝えることや疑問を人に投げつけることの積極性につながっているのではと感じた。

またカナダの高校は日本の高校とは違った視点で教育を進めていて、どちらの教育が優れているのかというのはわからないが将来2つの利点が教育制度が出来れば良いなと思った。

カナダの物価

森島 愛美

研究内容

カナダの物価について調べる。スーパーや雑貨屋に行って買った物の値段を調べ、日本と比べてみる。マニアックな物ではなく、食料品に焦点を当てる。

【テーマ選定理由】

海外に行くことになった時、一番調べてみたいと思ったのがカナダの物価だったから。物価は実際に現地に行って見ないとわからないことだから、このテーマにした。また、今回初めて海外へ行く機会を与えて頂いたため、身になるテーマがいいと思った。物価はカナダにもまた行く時に役に立ち、日本と比べることで日本のいいところカナダのいいところが発見できると思ったから。

① カナダの税金

連邦消費税(5%)と州税(州によって異なる)とハーモナイズド消費税(13%)の3種類ある。バンクーバーのあるブリティッシュコロンビア州では、連邦消費税(5%)と州税(7%)を足して12%となる。

- ・PST=州税
- ・GST=連邦消費税



② カナダの食費 - 日本と比べる

【安い・お得だと思ったもの】

スターバックス、果物、スナック菓子やチョコレートなどのお菓子類、



食品	比較商品	カナダドル (約)	日本円 (約)	詳細
スターバックス	チョコレートフラ ペチーノ (トールサイズ)	\$ 5.00 (400 円)	500 円	カナダのスターバックスのトールサイズは日本のスターバックスのグランデサイズに値する大きさ。
果物	さくらんぼ (500g)	\$ 3.00 (250 円)	1500 円	15 cm×15 cm程の箱に詰め ある。カナダの家庭には果物 が必ずあった。
お菓子	ポテトチップス (700g)	\$ 4.00 (320 円)	700 円	スーパーのお菓子売る場に行 くと、日本のような100gで一 袋のようなものは無く、全て 500g~程の大きいサイズだっ た。詰め合わせパックも多か った。
	チョコレート菓子 (250g)	\$ 2.00 (160 円)	250 円	

【高いと思ったもの】

500 mlのペットボトル飲料水、ハーゲンダッツなどの
有名なアイス



食品	比較商品	カナダドル (約)	日本円 (約)	詳細
ペットボト ル飲料水	りんごジュ ース (250 ml)	\$ 4.00 (320 円)	50 円	ペットボトル飲料水は高く感じた。 日本程売られていなかった。ペット ボトルより紙コップが多い。
アイスクリ ーム	棒アイス (ハーゲンダ ッツなど有名 なアイス)	\$ 6.00 (500 円)	300 円	観光地の売店だと特に高い。日本 でもハーゲンダッツは高いと感じて いたのにそれよりもカナダの方が 高くて驚いた。

③ カナダ料理・カナダにある日本食の値段

【カナダで人気の料理】Fisf 'N' Chips

カナダドル - 約 9.00

日本円 - 約 750 円

イギリスの郷土料理だが、カナダの人がよく食べていた。魚は自分で好きなものを選ぶお店もあり、サーモンが有名カナダなのでサーモンを食べた。



【代表的なカナダ料理】Poutine - プーティン

カナダドル - 約 \$ 9.00

日本円 - 約 750 円

カナダの代表的な料理であるプーティン。値段は手ごろで味もしっかりしていて、カナダに行くのなら食べてもらいたい。



【カナダで売っていた日本食】照り焼きチキン

カナダドル - 約 \$ 10.00

日本円 - 約 800 円

カナダの人に照り焼きは人気のようだった。私のホームステイ先の家族も皆好きと言っていた。



結果と考察

・カナダの食品の物価は比較的安いと感じた。特に果物は量も多く、日本より安く買うことができる。

➡カナダの果物は輸入品が多いため安くなっている。

・ペットボトル飲料水は日本よりも断然高い。

➡環境破壊を防ぐためにプラスチックごみを減らそうとして高く設定されている。

・日本食は日本と同じくらいの値段で食べることが出来る。

➡日本食はカナダではとても人気で、日本食店がショッピングモールのフードコートにもあり、カナダの人に求め安い値段で販売していて日本人から見て嬉しく思った。

様々な種類の人々が共存するカナダについて

吉田 唯葉

【テーマ選定理由】

私は、魚、肉、卵、牛乳など動物由来のものを一切食べないビーガンのホストシスターと2週間を一緒に過ごしました。カナダにはホストシスターのようなビーガンやベジタリアンが多くいます。そこでカナダではビーガンやベジタリアンの人たちとどのように共存しているのか疑問に思い、このテーマにしました。

1、ビーガン、ベジタリアンとは

カテゴリー	肉	魚	卵	乳
ビーガン	×	×	×	×
ベジタリアン	×	×	○	○

ビーガンは動物由来のものを一切食べない人たちのことで、ベジタリアンとは、主菜主義者のことを指します。

2、ホストシスターがビーガンになった理由

ホストシスターは、ビーガンに関するドキュメンタリーを見たことがきっかけだと言っていました。ビーガンに関するドキュメンタリーというのは、環境問題や健康、動物愛護などいろいろな観点から食について見つめ、問題提起をした映像です。実際に、ホストシスターだけでなく、最新のアメリカの調査では、ビーガンとベジタリアン実践者の約40%が「ドキュメンタリーを観て今の食生活を始めた」と答えているそうです。そのように、人々に影響を与えた有名なドキュメンタリーも数多くあるそうです。

3、ビーガンの食事



写真のようにビーガンの食事は豆、野菜、豆腐、米が中心だった

4、カナダのビーガンやベジタリアンの人たちの家の外での食事



(↑ビーガンのメニュー専用の店)



(↑普通の店でのビーガン用メニュー)

これは、ある日の夜、フェスティバルに連れて行ってもらった時の話です。日本でいう、バザーのようなもので食べ物や雑貨などいろいろな種類の店が出店しているフェスティバルに行きました。このフェスティバルにはビーガンやベジタリアンの人も多く来ているようでこのようなビーガンのメニューだけの店や普通の店でもビーガンのメニューがある店が多くありました。このような店がたくさんあるおかげでビーガンやベジタリアンの人々も不便なく生活できているのだと思いました。

5、日本とカナダのビーガンやベジタリアンに関する違い

【カナダ】

- ・ビーガンやベジタリアン用のメニューがある
- ・食べたいものを入れたり食べたくないものを抜いたりできる
- ・ビーガンやベジタリアンへの理解が深い

【日本】

- ・ビーガンやベジタリアン用のメニューがない
- ・食べたいものを入れたり食べたくないものを抜いたりできないところが多い
- ・ビーガンやベジタリアンへの理解がまだ浅い

6、まとめ

私は、カナダでの滞在で二つのことを学びました。

一つ目は、宗教や異文化の自分の理解がまだ浅いことです。自分が思っていた以上に知らないことが多いことを改めて実感させられました。私が友人にビーガンの家に泊まることを話した時、ビーガンについて知らない人が多いことが分かりました。だから、若い人たちがもっと宗教や異文化について知ってもらいたいと思いました。

二つ目は、カナダには自分の意見を持っている人が多いことです。ホストシスターも僅か14歳でビーガンになることを決めたそうです。私だったらそんな人生を決めるような決断をできるか分からないので、私も見習い、自分の意見や考えを持てるようになりたいと思いました。

4. 滞在感想文

優しさと親近感

上野 美鈴

私はこのノースバンクーバー市派遣生の事業に参加するまで、海外へ行ったことは無いに等しく、海外に長期滞在するなんてもってのほかでした。(3歳くらいの時に一度海外旅行に行ったみたいですがほとんど覚えていません)

外国についての知識は映画やテレビで得たものばかりで、ノースバンクーバー市へ行く直前は楽しみでもありながら、ホームステイ先や海外の文化になじめるかとても不安でした。しかし、実際にカナダに行ってみると、合う人はみんな優しく、ホストファミリーには親近感がわくばかりでした。

ホストファミリーは、私がなかなか英単語を思い出せずに止まってしまっている間、辛抱強く待ってくれたり、「こう言いたいのか？」と単語を教えてくれたりしました。時には英語から英語に翻訳して、私が理解しやすい言葉にかえてくれたこともありました。そんな優しいホストファミリーの方々、また、いつも体調を気遣ってくれたジョージに、この場を借りてお礼をします。ありがとうございました。

日本もカナダも森や川がある自然豊かな国ですが、カナダの自然は日本の自然と大きく違いました。日本とは生えている木の種類が違ったり、気候が違って、自分は違う国に来たんだと実感しました。また、カナダの人達の自然とのかかわり方も日本とは大きく違いました。カナダの人は、「軽いハイキングだよ」と言いながら日本だったら本格的な山登りをしていました。湖まで散歩したときは、なんのためらいもなく湖に飛び込んで泳いだりしてあそんでいました。

現地の人達同士の会話を聞いて強く感じたのは、「敬語が本当はない！」ということでした。日本語には年上や知らない人を敬う考えから、敬語というものがありますが、英語にはその考えがありません。そのため、ホストブラザーが他の家のお母さんと会話するときも、ジョージが知らない店員さんなどに声をかける時も、まるで仲のいい同い年の友達と話しているような調子でした。それが日本と大きく違ってとても新鮮でした。また、「言葉を使わなくても交流することができる」ということも強く感じました。一番楽しかった三日間のキャンプの夜にやったババ抜きでは、言葉を使わなくても表情で勝負ができて、負けたときや勝ったときの喜び方や悔しがり方は、日本人もカナダ人も同じで、とても親近感を感じました。

カナダを発つ一日前、フェアウェルパーティの後に家にもどってから、パーティでもらったお土産の服や帽子を全て身につけて、ホストファミリーと大笑いしていたときに、ふと寂しくなって思わず泣きそうになりました。

この16日間は非常に濃くて、毎日どこかに出かけたり、英語を喋ったりで目が回るような忙しさでしたが、本当に有意義でした。この貴重な経験を来年の派遣生受入のとき、またこれからの生活に活かしていきたいです。

Kindness and affinity

Misuzu Ueno

I had not been abroad for sixteen years. (My mother says that I have been abroad twice, but I don't remember them.) So it was like my first stay abroad.

I was not only excited to hear that I could go to North Vancouver, but worried. Because I knew little about foreign countries and I didn't know whether I could adapt to environments of Canada.

But I visited Canada and found that Canadian people are kind.

My host family taught me English and supported me to speak English. Thank you my host family, and thank you George for asking my health.

In Canada, there is beautiful nature. Japan has beautiful nature too. But there are many differences between Japan and Canada. There are differences in kind of woods, water, and so on. When I found the difference, I thought I was in a foreign country.

One day, Canadian students took us for a walk. They said it would be "light hiking", but it was very hard climbing for us as Japanese.

I realized there was no honorific in English. Japanese respects senior so we use honorific. But English speaker doesn't have this concept. So everyone in Canada spoke to others like friends. It was very interesting for me.

I also learned we do not need to use a word to communicate with others. We played card game with Canadian students at camp. We played "old man". We had a good time without using a word.

At that time I felt an affinity.

This sixteen days were very busy. But I had a positive experience.

I want to use this experience for future life.

Oh, Canada ! ! ! ! !

小澤 萌

カナダは、日本とは全く違う世界でした。

カナダは、色々な人がいて当たり前、という感覚が根付いていて素晴らしいと思えました。

カナダの方たちはとても優しく、男性は、必ずレディーファーストをします。ドアを開けてくれたり、道を先に通らせてくれたり、と、カナダでは当たり前のことなのに、嬉しかったです。

道で歩いていて目が合うと笑ってくれたり、暑いねと、声をかけてくれる人がたくさんいました。ホストシスターやホストファミリーの方達も、常に私たちの事を気にかけてくれ、とても優しく接して頂きました。本当の家族のようでした。

滞在した二週間で1番心に残っているのは、たくさん歩いたことです。

ハイキングや、散歩や、軽い山登りをたくさんしました。

キャンプのハイキングでは、線路を超えたり、綺麗な湖に入ったりしました。日本では見られない、景色がたくさん見られました。

また、こんなこともありました。全然歩かないし、平坦だよ、と言われて行ったら軽い山登りだった、ということです。サンダルでは立ち入り禁止、と書いてあるのに、サンダルで歩いたり、登山道を外れて、水遊びをしたり、ハクベリーというベリーを食べたりしました。8キロも歩きました。でも、とても楽しかったです。日本とは違う木や、風を感じることができました。

帰国の2日前の夜に、子供達だけで散歩をしました。1年分くらい笑って、夏なのに、クリスマスの歌を歌ったりしました。

カナダの人達は、たくさん歩きます。

そこで、きっと、友達や家族と絆を深めるのだな、と思いました。

帰国の日、寂しさと悲しさで涙が止まりませんでした。最高の二週間でした。

カナダは、本当に良い国でした。

私は、日本との違いを見つけないのと、英語を話したいのと、日本から出たい、という理由でこの交流プログラムに参加しましたが、理由以上のたくさんのことを感じることができました。

この経験を生かし、これから頑張っていきます。

最後に、皆様本当にありがとうございました！

Oh, Canada ! ! ! ! !

May Ozawa

Canada was a completely different world from Japan. I thought it was wonderful that Canada had a sense that it is natural that there are many kinds of people.

Canadian people are very kind. Men are always lady first. So, I was surprised and happy. When I was walking on the road, there were many people who smiled and spoke to us. The host family also always cared about us and treated me very kindly. It was like a real family.

The most memorable thing in my stay was walking a lot. We did a lot of hiking, walking, and mountain climbing. The hike during the camp, we crossed the train tracks and swam at beautiful lake. I saw a lot of scenery that I could not see in Japan. There were many unexpected incidents happened while hiking. One is when my host family said we'll just take a little walk on smooth road but actually it ended up like little mountain climbing. Another one we went on hiking with our flip-flops even though it was prohibited to hike with flip-flops. We went off the trail and picked and ate huckle berries. We walked 8km but it was really fun. I could see different trees and felt wind compare to Japan.

On the night two days before returning Japan, we walked with only the children. I laughed so much and sang Christmas songs in summer.

Canadians walk a lot.

Therefore, I think that by walking together, they will deepen the bonds between friends and family.

On the day of my return Japan, tears did not stop because of loneliness and sadness. It was the best two weeks.

Canada was a really good country.
I will use this experience and do my best.

Finally, thank you very much!

来年に向けて

加藤 李理

まず初めに、温かく楽しいひと時を一緒に過ごしてくれたホストファミリー・滞在をともにした派遣生・引率者の小川先生、また私にこのような素晴らしいチャンスを与えてくださった千葉市国際交流協会、千葉中央・ノースショアライオンズクラブの皆様、そして両親に感謝を伝えたいと思います。

今回のホームステイから私は自分の成長と同時に自分の変えるべき点を発見することができました。現在、私は高校の国際教養科に在籍し日々英語を勉強しています。カナダに行くまで、高校に入ってからの自分の英語力を発揮する場がなく自分の能力がどのくらいあるのか知りませんでした。しかし、カナダに行き現地の方そしてホストファミリーと話すことで高校入学からの自分の英語力の成長を感じられとても嬉しく思いました。また相手の話している言語のわかる喜びや自分の感じたことや経験を外国の方に伝えることの楽しさが感じられました。

同時にカナダ人派遣生同士の会話の内容はわかるのに単語が出てこないことや、間に入って会話に入る勇気がでないことでグループでの英会話に遠慮してしまうことが多くあったのでそこが自分の変えるべきところだと思いました。他にも、相手の質問に答えるばかりで自分から質問を投げかけたり話を展開させる場面が少なかったのではと思っています。これからは、グループ討論などでも英語力を求められる時代だと思っています。そのなかで、いち早くグループ内での英会話能力を磨き将来に役立てていきたいです。そして来年の受け入れまでには自分を更に磨き今回感じた悔いを克服するようになりたいです。

またカナダでは文化の多様性を肌で感じることができました。街中では中国語、日本語、フランス語が溢れかえり人種も多様で普段では見ることのできない世界でした。そのこともあり、食なども様々になりビーガンやベジタリアンの多い国なのではと感じました。オリンピックが近づき外国人向けの設備は増えつつありますが、まだまだ日本は他の文化を受け入れにくい国です。そのなかで、私たちのような若い世代が世界を見て文化を感じる事が大切なのだと思います。来年カナダ派遣生を受け入れる際にはそのようなことも感じつつ第3者の視点で日本を見てみたいと思います。

For next year

Lily Kato

First, I want to say thank you for a special and lovely 2 weeks to my host family, Japanese and Canadian students and Mr., Ogawa. Also, thank you for this wonderful opportunity to CCIA, Chiba central Lions, North Shore Lions and my parents.

From this homestay, I discovered my points that have grown and my improvements. Currently, I am studying English by attending high school international class. Until I went to Canada, I didn't know how much I have the English ability, because I didn't have a place to show my English skills in my daily life. However, when I went to Canada and talked with my host family and the local people, I was very happy to feel my growth in English. I also felt the joy of understanding the language and the enjoyment of communicating my feelings and experiences with foreigners.

At the same time, I could understand the content of the conversations between Canadian Students, but there were many words that I couldn't get out of words, and some situation that I didn't have the courage and couldn't enter the conversations in between. About these things I thought I should change. In addition, I think that there were few scenes where I asked questions and developed stories just by answering the other party's questions. From now on, I think it is an era which needs English skills at the group discussion and when we get out to the society. I would like to quickly improve my English conversation skills within the group and use it for the future. And I also would like to improve myself by next year's student acceptance from Canada and overcome my regrets.

In Canada, I was able to feel the diversity of cultures. The city was full of Chinese, Japanese and French language, and it was a world where people were diverse and could not be seen normally in Japan. For that reason, I felt Canada has a lot of variety in food cultures and also there are many vegans and vegetarians. Although the Olympics are approaching and facilities for foreigners are increasing, Japan is still a county where it is difficult to accept other cultures. In such an environment, I think it is important for us, young generations, to experience the world and gain understanding of other cultures. I would like to see Japan from a third-party perspective with that in mind when I accept a Canadian student next year.

派遣生になって

森島 愛美

私は中学生の頃から英語が好きで、いつか海外でホームステイを経験してみたいとずっと思っていました。でもまさか自分がこんなにも早く海外へ行き、外国人の方と交流できるとは思っていませんでした。

学校でも留学制度はありますが、費用が高く人数も多いので、外国人の方と一対一で交流できるのか、不安もありました。そんな時にこの千葉市国際交流協会を知り、英語圏の中でも特にきれいな発音のカナダへ行くことができる、という部分にとっても惹かれました。派遣生になるための書類審査と面接は本当に緊張しました。一緒に試験を受ける仲間も皆、行きたい、と強く思って受けに来ているので、人前が苦手な引込み思案の私にとっては大きなチャレンジでした。

そんな中、家族や学校の先生方の応援がとても支えになり、私を合格へと導いてくれたと思います。学校の先生によると、この派遣生に合格したのは私が学校で一人目だと聞いて、とても嬉しかったです。

カナダで二週間 過ごさせていただき、生まれて初めて行った外国がカナダで本当に良かったと思っています。私が緊張して上手く言葉が見つからず、会話がつながらない時や、困っているとき、優しく話しかけて下さり、会話が続くように接して頂きました。

私が日本の話をするとう興味深そうに熱心に聞いていただきました。そして 昨年 千葉市にカナダから派遣生として来た時のことを話して頂きました。カナダの皆さんは、とてもフレンドリーで親切でした。また ホストファミリーの方たちも皆 明るくて面白くて一緒にいてとても幸せでした。話しているときはゆっくり話してくださったり、写真を見せてくれたりと私たちにわかりやすく接していただき本当にカナダの方は優しいなと思いました。ライオンズクラブの会長さんのジョージさんも、とても優しく明るく面白い方でした。日本語がプリントされた服を良く着ていらして日本が好きなのだなと思い嬉しかったです。ここには書ききれない程の素晴らしい経験をさせていただきました。改めて5人の中に選ばれたこと、凄く嬉しく思い、同時にありがたい経験をさせて頂いたと思います。海外へ行き、2週間も1人1家庭へ受け入れて頂き、素敵な体験をたくさん用意して下さったホストファミリー、ジョージさんをはじめとした方々には感謝しきれません。

この派遣生に選ばれなかったら出会えなかった方々、体験が沢山あります。学生のうちにこのような体験ができるととても嬉しかったです。国際交流に以前よりもっと興味が湧きました。ライオンズクラブの方々にも「今後は是非ライオンズクラブを活用してください」と言っていたので、高校を卒業しても国際交流に参加していきたいと思います。この素晴らしい貴重な体験をこれからの学校生活、将来の夢に近づけるよう活かし、精一杯頑張りたいと思います。

Became a dispatch student

Manami Morishima

I wanted to experience a home stay someday, because I have liked English since I was a junior high school student.

I didn't think that I could go abroad and communicate with foreign students. There is language abroad system in my high school, but many students would apply for the program and it costs a lot. So I was worried. In such circumstances I found out about the program that Chiba City International Association offered, I was fascinated that I might be able to go to Canada that I am familiar with their clear pronunciation.

I was very nervous to fill out application and have an interview. It was very big challenge to me because I'm not good at being confident in front of people and I'm shy. My family and teachers' support meant a lot to me and their support guided to the acceptance of this program. I was very happy because I heard that I was the first student ever got accepted into this program at my school.

I think it was really good that the first foreign country I visited was Canada. I was helped by my host family when I couldn't find words and couldn't connected conversation. When I talked my host family about Japan, they seemed to be interested and they also told me about the memory when they visited Chiba City last year. Canadian people are very kind, cheerful and friendly. My host family too. So I was very happy. George who is a chairman of Lions club is very kind, cheerful and friendly. He often wore T-shirts with Japanese characters on it. It made me happy because I felt like he loves Japan.

My best memory in Canada is walking at night. Other Japanese dispatch student, Canadian dispatch students and I went to park and beach. The sun was out longer in Canada, so that we could stay out till late evening. In addition I went to Whistler, where is very beautiful place. When I searched about Canada on line before I left Japan, I found there. At that time I thought I want go there!! So I'm very happy that I could go there.

I was glad because I could have this experience while I'm students. I became more interested in International exchange. So I will do my best to bring this experience to my future dreams.

カナダでの滞在を通して

吉田 唯葉

カナダと日本は言葉が違います。私たちは学校で英語を習っていますが、週に何時間かの授業でペラペラに話せるようになるわけではありません。言葉がしっかり通じなくても、私が2週間の滞在を通して楽しかったと思えたことが二つありました。

一つ目は、スポーツです。全員のホストファミリーでキャンプに行ったとき、私たちは、様々な種類のスポーツを体験しました。日本では見たことがないようなスポーツもたくさんありましたが、その中で、私はバドミントンをしたことがとても印象に残っています。みんながやっている人を応援したり、歓声が上がったりしてわいわいしながらやったのでとても記憶に残っています。その時にスポーツは世界で共通して楽しめるものなのだと改めて実感しました。

二つ目は、歌と踊りです。ある日の夜、派遣生5人とそのホストシスター、ホストブラザーで散歩に出かけました。その時に歌の話になって、真夏なのになぜかみんなでクリスマス英語の歌を歌いました。私たちは、歌詞はあやふやだったけど手拍子をしたり、踊ったりしてみんなで盛り上げてとても楽しかったです。また、フェアエルパーティの時にカナダのダンスを教えてもらって、みんなで踊ったのも記憶に残っています。歌や音楽は、言葉が違ってても楽しめるものだと思います。

私は、2週間の滞在をととても楽しむことができました。それは、ホストシスターやホストシスターがすべてのイベントに私たちと一緒に楽しもうとしてくれたからだと思います。そして、来年くる派遣生に私たちがしてもらった対応をして楽しかったと思ってもらえるようにしたいです。

The memory in Canada

Yuiha Yoshida

Languages in Canada and the language in Japan are different. Japanese people learn English language in schools but I think most of people can't speak English based on only school lessons. I could get some good memories during my stay in Canada for two weeks, even if we can't communicate well through verbal communication.

The first one is, sports. When we went camping, we played many kinds of sports. There were many minor sports which we Japanese people don't know well. I had fun to play badminton with host sister and host brother because everyone cheered us up. Then I thought sports is what we can enjoy everywhere, and a kind of universal communication tool.

Second one is, music. One night, five dispatch students and our host sisters and brothers took a walk. Then, we sang Christmas songs, although it was summer. I didn't know lyrics of the song well, but it was so fun for me to clap and dance while singing. I was also taught Canadian dance by Canadian students at the Farewell party. I also thought we can enjoy music universally even if nationalities, languages were different.

Finally, I could have precious time and experiences during my stay in Canada because our host sisters and brothers enjoyed all events together with us and made our stay good. I will never forget the two weeks I spent in Canada. I want to try do everything so that international students who will come to Japan next year can get good memories and experiences during their stay.

Thank you.

引率者としての滞在を通して

千葉市立有吉中学校 教諭 小川 雄太（引率者）

引率者として今回のノースバンクーバーへの派遣が決まり、楽しみな気持ちが半分、不安な気持ちが半分で過ごしていました。久しぶりの海外渡航ということもありましたが、自分1人での引率ということで、責任の重さを感じました。しかし、実際にはジョージさんやホストファミリーのルシルさん、ラリーさんのおかげで今回の滞在を事故もなく楽しいものになり、感謝の思いでいっぱいです。

実際にノースバンクーバーで過ごした2週間は、本当に貴重な経験にあふれるものになりました。最も印象に残っているのは、カナダの人たちの暖かさです。ホストファミリーの方々やジョージさんは本当に優しく、私達とコミュニケーションをとったり気にかけてくれたりしました。そのおかげで、自分を含め派遣生たちも寂しさを感じることなく今回の滞在を過ごすことができました。

また、現地で出会う人々との会話も印象に残っています。海外経験があまりないまま中学校で英語を教えており、今回の滞在ではどれだけ自分の英語が通用するかを経験することも私の課題でした。カナダでは、日本から来た私達に気さくに声をかけてくれた人がたくさんいました。自分が聞きたいことについては難なく伝えられるのですが、会話を続けていく中でなかなか言葉が出ない場面もありました。しかし、カナダの人々は伝え方を考えてくれたりしながら会話をしてくれました。やりきれなかったことは自分の勉強の糧にしていき、次の機会にはたくさんのことを伝えたいと思います。

最後に、このような機会を与えて下さった千葉市国際交流協会の皆様、千葉中央ライオンズクラブの皆様、ノースバンクーバーで私達に様々な経験をさせていただいたジョージさん、ノースショアライオンズの皆様、5人のカナダ高校生と2週間受け入れて下さったホストファミリーの皆様、そして私を受け入れて下さったホストファミリーのルシルさんとラリーさん、出会ったすべての方々に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

Through This Stay as a Chaperon

Chaperon Yuta Ogawa

When I was decided as a chaperon to North Vancouver this year, I was excited and nervous at the same time before I went there. One of the reasons why I felt nervous was that I haven't travelled abroad since I had one last time. And the bigger reason was that I felt like a big responsibility for this stay that I had to lead five high school students from Chiba by myself. But in fact, George and my host family-Lucille and Larry took good care of us, so we had very great time in Canada. I really appreciated their support.

It was a precious experience for me during two weeks I spent in North Vancouver City. My most impressive thing in this stay was that I felt people's kindness in Canada. My host family and George were really kind and they always thought about us. Thanks to them, we were able to spend time staying in Canada without feeling lonely.

Also, communicating with people I met in Canada is my great memory. I am an English teacher, but I have not had much experience to visit and stay in foreign countries. So this time, I thought that it was good chance for me to communicate with people there in English. In Canada, there were a lot of people coming to talk with us, Japanese. Of course, I could tell them what I wanted to ask. However, I sometimes had little idea how to express and hard time continue talking in English. In that case, they made efforts to make us understand easily. I would like to make this opportunity beneficial in the future and to communicate more with them next time.

Finally, I would like to express my deepest appreciation to Chiba City International Association who gave me such opportunities, Chiba Central Lions Club, the North Shore Lions, especially George, who looked after us through various experiences at North Vancouver, five Canadian students and their host families who accepted students from Chiba for two weeks, Lucille and Larry, my host family, and all the people I met in Canada. Thank you.

5. 記録写真（思い出の写真）

(1) 上野 美鈴



ホストファミリーと訪れたヒマワリ畑



Sea to sky ゴンドラ 私たちが乗った日の夜にゴンドラのワイヤーが切られてしまった



マーモットの写真 ウィスラーマウンテンにて



お昼にホストファミリーに冷やしうどんを作ってあげた



ホストファミリーのアビー、クリスティーナと フェアウェルパーティにて



最終日の夜 フェアウェルパーティでもらったお土産を家で全部身に付けてみた

(2) 小澤 萌



Farewell partyにて。ホストシスターの Emma です。優しく大人っぽくて、大好きです！アルバムを作ってくれました。宝物です。



本当にお世話になったライオンズクラブの George。色々な所に連れていってくれました。ありがとうの言葉しかありません。



Stanley Park でサイクリングをしました。トーテムポールの真似です。涼しくて、気持ちよかったです。



Whistlerにて。五十周年記念Tシャツを着ています。少し暑くて、袖を最大限までめくっています。



ホストファミリーです。本当は、弟もいるのですが、全員で撮れませんでした。とても優しくしてもらいました。感謝しかありません。



子どもだけで夜散歩。笑いすぎて笑いすぎてどうなるかと思いました。みんなありがとう。また会おうね。日本にも来てね。

(3) 加藤 李理



キャンプ day に行った湖でホストブラザーが私の名前にちなんでwater lilyをプレゼントしてくれた。



ウィスラーにて4人でセルフィー。リフトの上でスマホを使うのは落としてしまいそうでもとてもヒヤヒヤした。



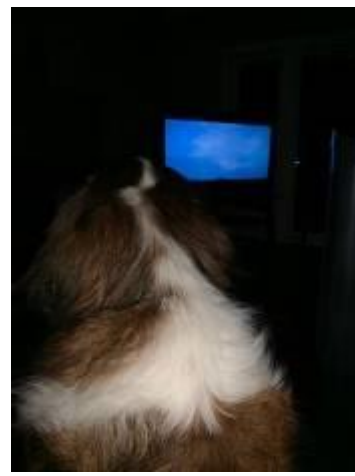
日本食（お好み焼き）を披露した。鯉節が躍る様子に驚き、楽しんでくれたのでとてもよかった。



ホストファーザー。ピーナッツの殻をスタジアムの床に捨てるのはカナダでは当たり前なことらしい。驚きだった。



Farewell party でのホストマザー・ステイールとの写真。



最後の夜、映画を見ているとルーパートがずっと隣に寄り添ってくれた。癒された。

(4) 森島 愛美



日本の派遣生5人とカナダの派遣生5人での集合写真です。ウイスラーへの旅行への時の山の上での写真です。



遊園地へみんなで行った時にメリーゴーランドの前で撮ってもらいました。日本にはないアトラクションに乗れてとても楽しかったです。



カナダのライオンズクラブの会長、ジョージさんとのフェアフェルパーティの時の写真です。浴衣での写真なので嬉しかったです。



私の誕生日の日に私のホームステイ先でケーキを食べたあと夕方から近くに散歩に行きました。海や公園を周り、本当に楽しく私の中で1番の思い出です。



キャンプの時に私の誕生日サプライズをしてもらいました。驚きましたがみんなが祝ってくださりとても嬉しかったです。



フリーディにホームステイ先の子とホストマザーと隣の家のピーターさんと一緒にボートに乗りました。ピーターさんがとても面白い方で楽しかったです。

(5) 吉田 唯葉



ウィスラーに行ったときの写真です。夏なのに雪が残っていたのでびっくりしました。



これは、夜みんなで散歩に行ったときの写真です。とても盛り上がり楽しかったです。



これは、ウィスラーでショックアイを作った時の写真です。みんなで真剣にショックアイづくりをして楽しかったのを覚えています。



これは、みんなでハイキングに行ったときの写真です。山道だったけど頂点についたとき達成感を感じられました。



これは、カナダの寿司レストランで食べた寿司の写真です。初めて食べたわさびは多量過ぎて涙が出てきました。



ウィスラーに行ったときにみんなで撮った写真です。ハイキングの途中でいろんな話ができとっても楽しかったです。

(6) 引率者 小川 雄太



ウィスラー旅行で訪れた町の風景



ウィスラー旅行の途中の昼食。トッピングを盛りすぎました…。



市長表敬訪問 市長室にて



キャピラノ吊り橋での1枚



過去の引率者との食事会
(シャペロンナイト)



フェアウェルパーティでの1枚

令和元年度 青少年交流事業
カナダ・ノースバンクーバー市派遣 帰国報告書

発行 令和元年 11 月発行
編集・発行 公益財団法人千葉市国際交流協会
〒260-0026
千葉市中央区千葉港 2-1
千葉中央コミュニティーセンター 2 階
TEL : 043-245-5750
FAX : 043-245-5751
URL : www.ccia-chiba.or.jp/